

**私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。**

**「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況**

事業所名	生活リハビリセンター六三四			第三者評価受審年度	令和元年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元 年度)	改善計画 (令和元 年度末時点)	実施状況 (令和元 年度末時点)	実施状況 (年度末時点)	
事業所内での研修の体系化及び人事評価の仕組みを強化している。  その他、走着率向上に向け法人全体で前向きに取り組んでいる件について	研修の体系化及び人事評価の仕組みを強化している。	必要な知識、技術を身につけられるように事業所内においても研修の機会を定期的に設け内部研修を充実させる。	各事業所には育成担当者を配置して現場の業務評価を効率よくできている。職員全体会議、施設内会議を通じ内部研修の機会を設けている。		
事業所内の看護師や隣接のクリニック、言語聴覚士、理学療法士などの専門職とも日常的に連携し利用者の支援を進めている件について	専門職と日常的に連携し利用者支援を進めている。	STによる言語訓練、PTによる理学療法を定期的におこなっている。訓練結果を職員間で共有化を図るべきである。	看護師がローテーションで常駐している為スムーズな対応がとれている。施設内での3ヵ月に1度の訓練評価会議にて訓練結果を職員間で共有ができる。		
各種マニュアルの認知をより高めていく為にも、職員の意見も取り入れてマニュアル関係の見直しを進められる事を期待する件について	プライバシーポリシー、法令遵守マニュアル、障害者の権利擁護、虐待が起きてしまった場合の対応マニュアル等整備されている。	現在改訂が必要なマニュアルを洗い出して、現状に即したマニュアル作成に取り組む必要がある。	1ヵ月に1度の施設内会議にて各種マニュアルの認知を高め、職員の意見を取り入れながら現状に即したマニュアルを作成している。		

※この様式は、「小平市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。